

醫學博士 菅沼定男著

眼 結 核  
全

南山堂書店

東京

發行

醫學博士 菅沼定男著

眼 結 核

全

東京 南山堂書店 發行

## 序 文

結核性眼疾患ハ吾人眼科醫ニトツテノミナラズ一般結核研究者ニトツテモ亦大ナル對象ノ一ツデアアル、何トナレバ眼球内ノ結核病竈デスラモ檢眼鏡ニヨレバ具サニ其状態ヲ觀察シ得ルノミナラズ、裂孔燈顯微鏡ヲ利用スレバ生體ニ就テ顯微鏡的ノ變化ヲモ追究スルコトガ出來ルカラデアアル。

然ルニ眼結核ノ診斷ト治療トノ比較的困難ナタメニ救ヒ得ベキ患者ヲ失明ノ不幸ニ陥ラシメルノミナラズ、時ニハ其生命スラ失ハシメルコトノアルノハ遺憾ノ極ミデアアル。

余ハ過去三十年間ノ教壇生活中、眼結核患者ニ遭遇スル度毎ニ事情ノ許ス限リ其所見ヲ描寫セシメタ結果、多少ノ着色圖ヲ集メ得タノデ、第九回日本醫學會第二十四分科會(1934)ト第十五回日本結核病學會總會(1937)トノ特別講演デ、其内ノ代表的症例ノ描寫圖ヲ供覽シ、眼結核及ビ結核ト密接ナ交渉ヲ持ツ眼疾患ノ病理、診斷及ビ治療ニ就テ愚見ヲ述ベタガ、本書ノ内容ハ此等兩回ノ講演材料ニ其後ニ得タ材料ヲ加ヘタモノデアツテ、學會デハ時間ノ制限ノタメニ述ベ得ナカツタ治療法ニ就テモ余ノ經驗ヲ語り度イト思フ。

本書ノ内容ガ多少トモ讀者ノ參考トナリ、一人デモ多クノ患者ガ失明或ハ死ノ不幸カラ救ハレルナラバ、救ヒ得ベキヲ救ヒ得ナカツタ余ノ罪過ノ贖ヒトナリ、之ニヨツテ此等不幸ナ患者ニ對スル余ノ責任上ノ鏤骨ノ苦ミヲ幾分デモ輕減シ度イト思フ。

而シテ此稿ヲ上梓スルニアタツテ余ノ衷心感謝ニ堪ヘナ

イコトハ、眼結核ノX線放射療法ニ關シ藤浪教授ト安藤教授トガ日常懇切ナ御指導ヲ給ハルコトデアツテ、茲ニ改メテ深甚ノ謝意ヲ表スルト同時ニ、此放射療法ノ實施ニ際シ多大ノ助力ヲ與ヘラレル松本寛博士ノ終始渝ラザル御懇情ヲ深謝スル。

マタ本書中ノ着色圖ハ吾教室ノ仙名博資氏ノ筆ニ成ツタノデアツテ、日常親シク其勞ヲ見ツツアル余ハ氏ノ其業務ニ對スル眞摯ナ態度ニ敬意ヲ表セザルヲ得ナイ。

昭和十三年春

慶應義塾大學醫學部眼科學教室ニ於テ

菅 沼 定 男

内 容 目 次

序 文 .....	1
第一章 眼結核病學ノ歴史 .....	1
第二章 <i>Aschoff</i> ノ結核病竈ニ型分類法ト <i>Ranke</i> ノ結核病機三期分割法 .....	3
第三章 眼結核ト <i>Ranke</i> ノ結核三期トノ關係 .....	8
第四章 眼結核治療法ノ一般ニ就テ .....	15
第一節 眼結核ノ特殊療法(「ツベルクリン」療法) .....	15
第二節 「ツベルクリン」ノ種類及ビ其用法 .....	17
附. 「ツベルクリン」ニヨル診斷法 .....	19
第三節 眼結核中ノ「ツベルクリン」療法有效型禁忌型及ビ不要型 .....	20
第四節 眼結核ノ非特殊療法 .....	22
第一項 異種蛋白療法 .....	22
第二項 自家血液療法並ニ自家血清療法 .....	23
第三項 光線療法. 附. 婦人斷種療法 .....	24
第四項 藥品療法 .....	27
第五項 手術的療法 .....	27
第五章 眼結核各論 .....	28
第一節 角膜及鞏膜ノ結核 .....	28
第一項 表在性結核性角膜炎 .....	28
第二項 結核性鞏膜角膜炎(一名硬化性角膜炎) .....	31
第三項 結核性角膜實質炎 .....	35
第四項 腺病性角膜實質炎 .....	38

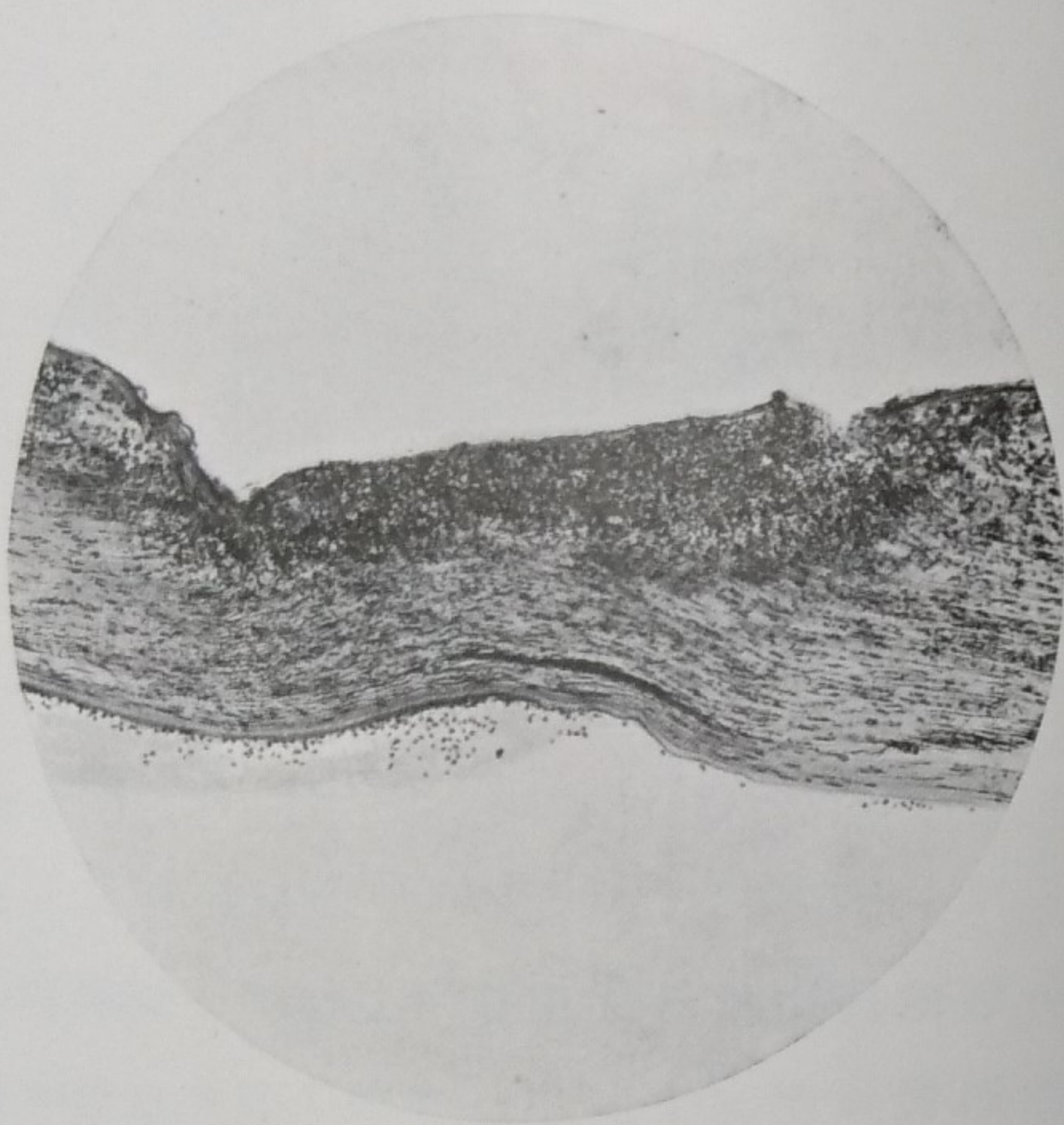
第五項	結核性深部角膜炎.....	42
第六項	進行性鞏膜周邊角膜炎 ( <i>Szily</i> ) .....	45
第七項	結核性前半部鞏膜炎 .....	46
第八項	結核性後半部鞏膜炎 .....	50
第九項	上鞏膜結核腫 .....	51
第十項	結核性上鞏膜炎 .....	53
第二節	葡萄膜ノ結核 .....	56
第一項	虹彩及ビ毛様體ノ結核 .....	56
1	小結節ヲ多發スル虹彩炎,及虹彩毛様體炎	56
2	結核性肉芽性虹彩毛様體炎.....	61
3	結節モ肉芽モ形成サレナイ慢性結核性虹 彩毛様體炎 .....	62
第二項	脈絡膜ノ結核 .....	65
1	脈絡膜急性粟粒結核 .....	65
2	散在性脈絡膜炎 .....	67
3	結核性瀰漫性脈絡膜炎 .....	69
4	脈絡膜孤在「ツベルケル」(集成「ツベルケル」)	72
5	結核性中心性脈絡膜網膜炎.....	75
第三項	交感性眼炎ト結核トノ關係.....	80
第四項	エドモンド,エンゼン氏乳頭隣接網膜脈絡 膜炎ト結核トノ關係 .....	83
第三節	網膜ノ結核.....	87
第一項	網膜實質ノ結核 .....	87
第二項	網膜血管ノ結核(結核性靜脈周圍炎,舊稱青 年性再發性網膜硝子體出血症) .....	90

第四節	視神經ノ結核 .....	97
第一項	原發性結核性乳頭炎 .....	97
第二項	上行性結核性乳頭炎 .....	99
第三項	結核性視神經周圍炎及ビ周邊性視神經實 質炎 .....	101
第四項	結核性球外視神經炎 .....	103
第五項	其他ノ視神經幹結核 .....	105
第五節	眼窩ノ結核.....	107
第六節	結膜ノ結核.....	110
第一型	小結節ノ多發スル結膜結核.....	110
第二型	パリノー氏結膜炎ノ型態ヲ呈スル結膜結 核 .....	111
第三型	結膜ノ腺病性苔癬.....	114
第四型	眼瞼皮膚ノ狼瘡ニ續發スル結膜結核.....	114
第五型	肉芽ノ増殖スル結膜結核 .....	114
第七節	「フリユクテーン」ト結核トノ關係 .....	118
第八節	涙器ノ結核.....	122
第一項	涙腺ノ結核 .....	122
第二項	Mikulicz氏病ト結核トノ關係.....	124
第三項	涙囊,鼻涙管及小涙管ノ結核.....	127
第九節	眼瞼皮膚ノ結核 .....	129
第六章	眼結核治療法ノ總括 .....	133
第七章	眼結核ノ發生頻度 .....	136
第一節	眼結核患者數ト他種眼病患者トノ比率.....	136
第二節	各種眼結核ノ發生頻度 .....	137

表在性浸潤竈ガアツテ、灰白色デ不正三角形ヲ呈シ、繰返シ上皮ガ剝脱シテ、其刺戟症状ノタメニ患者ハ甚シク苦シンダノデアアル。

第六圖ハ其組織標本ノ顯微鏡寫真デアアル。即チ彼ノ紡錘形病竈ノ子午線斷切片デアツテ、寫真中ノ左三分ノ一部ガ角

第 六 圖  
表在性結核性角膜炎



膜、右三分ノ一部ガ鞏膜、中三分ノ一部ガ潰瘍面デアアル。而シテ角膜ハ薄イ新生上皮デ被ハレ、此新生上皮ノ潰瘍底ニ向ツテ沈下シツツアル状態が見ラレル。潰瘍底デハ、斷裂分散シタ角膜小板間ニ濃密ナ細胞浸潤ガアツテ、小板ノ斷端ハ壊死崩壞シテ居ル。此ノ如キ細胞浸潤ハ鞏膜中ヘモ、角膜中ヘモ進入シテ居ルガ、共ニ其表層中ニ廣マリ、角膜裏面ニハ比較的少數ノ白血球群ガ附着シテ居ルノミデアアル。 デスツエメー

ト氏膜ハ丁度潰瘍部ノ後面中央デ終ツテ居ル。

治療法：紫外線或ハX線ノ照射ガ有效デアアル。同時ニ溫菴法ヲ行ヒ、「アトロピン」デ散瞳シ、「デオニン」其他ノ角膜澄明劑ヲ併用スル。

第二項 結核性鞏角膜炎 Sclero-ceratitis tuberculosa.

(一名、硬化性角膜炎, Ceratitis sclerosificans.)

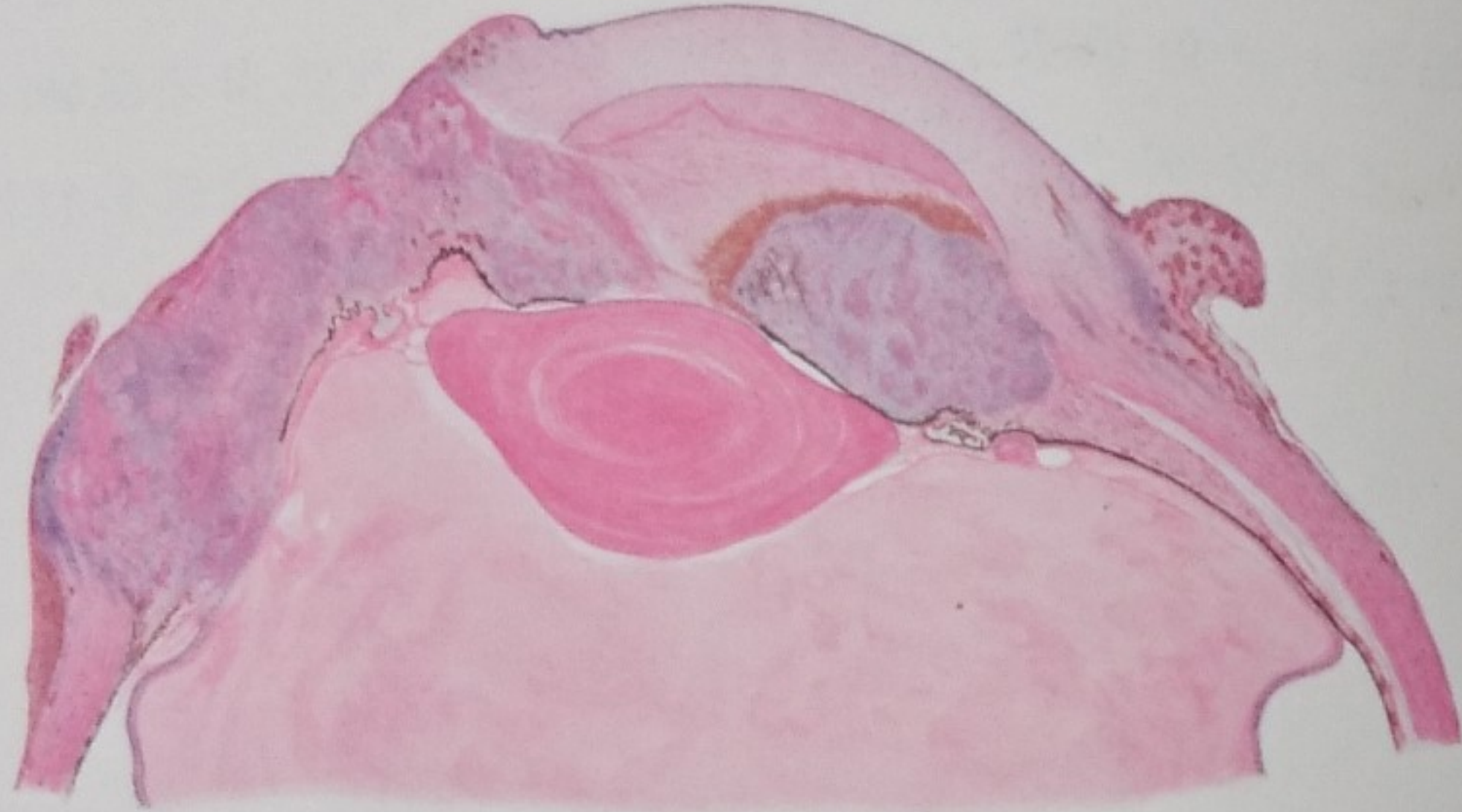
本病型ハ最モ多ク吾人ノ遭遇スル眼結核デアツテ、最初角膜ニ隣接シテ先ヅ鞏膜炎ノ症候ガ現ハレ、次デ之ニ隣接シタ角膜中ニ實質性ノ濁濁ガ起ルノデアアル。即チ原發病竈ハ鞏

第 七 圖  
結核性鞏角膜炎(其一)



膜前縁部ノ深層中ニ潜在スルコトガ多ク、先ヅ此部ニ帶青暗赤色ノ充血ガ起リ、マタ屢バ上鞏膜炎ヲモ併發スルタメニ局

第三十七圖  
結核性肉芽性虹彩毛様體炎



3. 結節モ肉芽モ形成サレナイ(即チ特徴ノ無イ)慢性結核性虹彩毛様體炎

慢性ノ虹彩毛様體炎デ臨床上デハ結節モ肉芽モ發見サレズ、而カモ組織學上デハ結核性變化ガ證明サレルモノガアリ、更ニマタ臨床上デモ組織學上デモ結核トシテノ何等ノ特徴ヲモ見定メ得ナイデ、其實ハ矢張り結核ニ原因スル虹彩毛様體炎ガアル (*Azenfeld, Gilbert, v. Hippel, etc*) 此最後ノ型ニ屬スル虹彩毛様體炎デモ、病ノ初期ニハ、組織學的ニハ結核性變化ヲ見出シ得タランモノガ、疾病ノ後半期ニ入ツテ、壞死ヤ癥痕形成等ノ續發性變化ノタメニ、之ヲ見定メ得ナクナルコトガアルト思ハレル。彼ノ謂ユル漿液性虹彩炎 *Iritis serosa*. 及ビ再發性前房蓄膿性虹彩炎 *recidivierende Hypopyoniritis* ノ如キガ此部類ニ屬スルト謂ハレル。而シテ漿液性虹彩炎デハ症狀ノ輕ク、豫後ノ可良ナ爲ニ、剖檢ノ機會ガ無ク、組織學的所見ハ未知デアアルガ、再發性前房蓄膿性虹彩炎デハ剖檢例モアリ、其

組織學的所見ノ記載モアリ、余モ其組織標本ヲ所藏シテハ居ルガ、孰レモ病氣ノ末期ニ剖檢サレタ症例ノミデアアルタメニ、内眼炎 (*Endophthalmitis*) ノ末期ニ見ルヤウナ組織ノ壞死ヤ癥痕化ノミガ見出サレテ、結核トシテノ特徴ノアル變化ハ今日ニ至ルモ尙ホ見出サレテ居ラナイノデアアル。而カモ尙ホ本病ト結核トノ關係ノ云々サレル所以ハ、本病ノ時ニ「フリュクテーン」、青年性再發性網膜硝子體出血、虹彩ノ小結節等ガ發見サレ、マタ患者ノ多クニ於テビルケー氏、マントー氏等ノ「ツベクリン」反應ノ陽性デアアルガタメデアアル。

第三十八圖  
漿液性虹彩炎



第三十八圖ハ三十六歳ノ一婦人ノ右眼ニ起ツタ漿液性虹彩毛様體炎ノ描寫圖デアツテ、「アトロピン」ヲ點眼シテ散瞳シテアルガ、局所ニハ何等ノ刺戟症狀モ認メラレズ、タダ角膜ノ

26  
24  
22, 136, 140  
23  
16  
  
16  
96  
12  
4  
14  
14

昭和 13 年 4 月 5 日 印 刷  
昭和 13 年 4 月 8 日 發 行

眼 結 核

不 許 複 製

正 價 金 10 圓



著 者 <sup>スガ</sup>菅 <sup>マ</sup>沼 <sup>サダ</sup>定 <sup>ヲ</sup>男

發 行 者 鈴 木 幹 太  
東京市本郷區龍岡町36番地

印 刷 者 大 庭 敏 道  
東京市牛込區市谷加賀町2丁目

印 刷 所 大 日 本 印 刷 株 式 會 社  
東京市牛込區市谷加賀町2丁目

發 行 所 南 山 堂 書 店  
東京市本郷區龍岡町36番地  
電話 小石川 423. 4757. 4771 番  
振替 東京 6 3 3 8 番地